

胆道閉鎖症

1 . 概要

新生児または乳児において、胆管が十二指腸と左右肝管第二分枝の間のどこかで閉塞、欠損または破壊されたために、胆汁をまったく排泄できずに閉塞性黄疸を来たす疾患。

2 . 疫学

約 2000 人

3 . 原因の解明

発症が胎児期と考えられる先天型と、これが出生後と考えられる後天型ともに、胆管閉塞の原因は不明である。

4 . 主な症状

遅くとも生後 3 か月までに黄疸、淡黄（灰白）色便、褐色尿が出現することが多い。

5 . 主な合併症

ビタミン K 欠乏症による臍、頭蓋内出血

6 . 主な治療法

肝門部空腸吻合術

7 . 研究班

新生児・乳児胆道閉鎖症の総合的な管理（診断・治療）に関する研究班